

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床検査概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		藤江 洋志	実務経験とその関連資格	臨床工学技士養成校にて26年従事。医療安全管理学修士、臨床検査技師			
《授業科目における学習内容》							
臨床検査概論の授業を進めていくことで、臨床検査の基礎から応用までを体系的に学ぶことができる。これをもとに臨床工学技士業務において患者の病態把握に努めることの一助となることができる。							
《成績評価の方法と基準》							
1. 定期試験： 70％ 2. 出席点： 20％ 3. 平常点： 10％							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
臨床工学技士標準テキスト 第4版 金原出版							
《授業外における学習方法》							
授業後の復習と関連する国家試験の問題とその解説を見ておくこと。							
《履修に当たっての留意点》							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の基本的な役割と種類を理解する。		臨床工学技士標準テキスト	授業後の復習と関連する国家試験の問題とその解説を見ておくこと。	
		各コマにおける授業予定	臨床検査の定義、目的、医療における役割について学ぶ。臨床検査の種類と各検査の概要を理解する。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	検体検査の種類とその意義を理解する。		臨床工学技士標準テキスト	授業後の復習と関連する国家試験の問題とその解説を見ておくこと。	
		各コマにおける授業予定	検体検査の種類(血液検査、尿検査、生化学検査など)と、各検査の原理、目的、臨床的意義について学ぶ。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理機能検査と画像検査の種類とその意義を理解する。		臨床工学技士標準テキスト	授業後の復習と関連する国家試験の問題とその解説を見ておくこと。	
		各コマにおける授業予定	生理機能検査(心電図、呼吸機能検査、脳波検査) 画像検査(X線検査、CT検査、MRI検査、超音波検査)				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の精度管理の重要性と方法を理解する。		臨床工学技士標準テキスト	授業後の復習と関連する国家試験の問題とその解説を見ておくこと。	
		各コマにおける授業予定	精度管理の基本概念(正確度、精密度) 内部精度管理と外部精度管理 精度管理の実践方法				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の感度、特異度、基準値、カットオフ値、パニック値を理解する。		臨床工学技士標準テキスト	授業後の復習と関連する国家試験の問題とその解説を見ておくこと。	
		各コマにおける授業予定	感度と特異度の概念 基準値とカットオフ値の設定方法 パニック値の意義と対応				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	臨床工学技士標 準テキスト	授業後の復習と関連す る国家試験の問題とそ の解説を見ておくこと。
	各コマに おける 授業予定	主要な臨床検査項目の臨床的意義を理解する。 白血球数、CRP、ESRの意義 血糖値、HbA1cの意義 コレステロール、肝機能検査、腎機能検査の意義		
第 7 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	臨床工学技士標 準テキスト	授業後の復習と関連す る国家試験の問題とそ の解説を見ておくこと。
	各コマに おける 授業予定	臨床工学技士の役割と臨床検査の関連性を理解する。 臨床工学技士の業務内容 臨床検査データの活用方法 具体的な業務例(人工呼吸器の設定、血液浄化療法の実施)		
第 8 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	臨床工学技士標 準テキスト	授業後の復習と関連す る国家試験の問題とそ の解説を見ておくこと。
	各コマに おける 授業予定	臨床検査の実践的な応用方法を理解する。 臨床検査結果の解釈と臨床判断 臨床検査の限界と注意点 臨床検査の最新技術と今後の展望		